

福井県社保協 F A X 通信

2021年度 第4号 9月15日

発行責任者
福井県社会保障推進協議会
事務局長 平澤 公

<http://fkshk.web.fc2.com/>

第48回中央社保学校 in 名古屋

コロナ禍での日本の政治・社会に愕然！

社会保障を学び、新自由主義を克服しよう

コロナ禍により昨年の中央社保学校は1年延期され、8月28日・29日の両日に名古屋市で開催されました。福井県社保協からは、福井市と敦賀市の合計3会場と、職場や自宅で21人がオンラインで参加をしました。参加者からは、「石川先生（神戸女学院大学）の講演がよくわかった」「社会保障入門テキストを学習したい」「オンラインなので参加しやすかった」などの感想が寄せられました。

<参加者の感想（一部）>

- ・デンマークの政策に驚いた。「子どもは国の宝、みんなで育てるもの」になっている。
- ・エネルギー生産力の質の転換、原発に頼り切っているだけではだめだと感じた。
- ・デンマークでは多くの税金を負担するが、生まれてから死ぬまでの補償がされていることを知った。
- ・地球温暖化と新しいウイルスの関係性があらためて怖いと思った。
- ・福井県の幸福度が高いという狭い知識、世界から見て日本のランキングが悲しい。
- ・人権としての社会保障という観点を今後も大切にしていきたいと感じた。
- ・コロナ禍で見えてきた社会の課題を各方面から学ぶ機会になった。
- ・野党共闘について、一刻も早く政策協議が進められることを願っている。
- ・コロナ禍にマッチした内容であった。

9月12日

嶺南社保協が食料支援活動 「おすそわけ市」



新型コロナウイルス感染拡大によって収入が減少し、困窮する問題が全国で大きくなっています。国はこの問題に何の手も打たず、「最後には生活保護がある」と逃げています。すでに各地で民間による食料支援活動が積極的に行われている中、嶺南社保協が9月12日（日）に「おすそわけ市」を開催しました。前日までに準備を重ねて迎えた当日は、開会時刻前に大勢の市民が訪れました。スタッフのみなさんはあらかじめ袋に小分けした2種

類の食料品袋と日用品を手際よく配布し、アンケートで困りごとなどを聞きながら、個別の相談に応じていました。嶺南社保協としては初めてのとりくみでしたが、市民のみなさんの声を直接聞くことができる良い機会になりました。